

令和5年度第2回 函館市企業局経営懇話会 会議録

【開催日時】 令和5年11月29日（水） 午前10時00分～午前11時05分

【開催場所】 函館市企業局庁舎4階大会議室（アクロス十字街）

【次第】

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 令和4（2022）年度企業局各会計決算の概要について
- 3 議事
 - (1) 函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理について
- 4 その他
 - (1) 1日乗車料金および2日乗車料金に係る条例の改正について
 - (2) 乗継制度の見直しについて
 - (3) 令和5年10月6日発生の架線断線事故の概要について
 - (4) 令和5年11月24日発生の変電所トラブルに伴う市電の運行障害の概要について
- 5 閉会

【出欠状況】

■委員（出席9名）

（○は出席，敬称略）

所 属 団 体	氏 名	出	所 属 団 体	氏 名	出
公立はこだて未来大学	白石 陽	—	函館東商工会	畠山 晴一	—
北海道大学名誉教授	三浦 汀介	○	連合北海道函館地区連合会	黒瀧 浩二	○
北海道税理士会函館支部	半浦 明美	○	函館商工会議所	竹内 正幸	—
北海道電力ネットワーク株式会社	喜多村 悟	—	函館水産連合協議会	吉村健太郎	—
函館市社会福祉協議会	佐藤 秀臣	○	函館地区バス協会	渡部 浩典	○
函館市女性会議	佐々木 香	○	函館湯の川温泉旅館協同組合	大桃 誠	—
函館市町会連合会	江頭 進	○	一般公募	山本 秀治	○
函館消費者協会	森元 浩	○			

■事務局（出席22名）

手塚企業局長

- ・ 管理部 万丈部長，臼杵次長，高野総務課長，田原経営企画課長，中村経理課長，川井料金課長，経営企画課4名
- ・ 上下水道部 伊藤部長，高木次長，川村管路整備室長，佐野業務課長，川尻計画担当課長，丹内建設担当課長，加地維持管理担当課長，西谷浄水課長，濱坂終末処理場長
- ・ 交通部 小笠原部長，廣瀬次長，向出安全推進課長，湊事業課長

【会議発言概要】

開会前

経営企画課長 本日はご多忙中の所、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。開会前ではございますが、本日、白石委員、喜多村委員、竹内委員、大桃委員、畠山委員、吉村委員におかれましては、所用のためご欠席となります。また、資料に修正がございましたので、席次表と本日の資料8ページの差し替え、次第4 その他でご報告いたします、追加資料をお手元に配付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。なお、当懇話会の会議録につきましては、後日、公表となりますことを、ご了承いただきまして、発言の際にはマイクをお使いいただきますようお願いいたします。

1 開会

経営企画課長 それでは、これより令和5年度第2回函館市企業局経営懇話会を開会いたします。次第2の報告事項でございますが、ここからの進行を三浦会長をお願いしたいと思います。三浦会長よろしくお願いいたします。

2 報告事項

三浦会長 はい、それでは、次第2の報告事項でございます。令和4年度企業局各会計決算の概要についてでございますが、事務局の方から報告をお願いいたします。

経理課長 <資料説明 1～3ページ>

三浦会長 ただいま事務局の方から報告がございましたが、各委員から、ご質問等ございましたらよろしくお願いいたします。
よろしいですか。
特に問題もないように見受けられますが、ご質問、ご意見等ございませんようでしたら、本件については終了したいと思います。

3 議事

三浦会長 それでは、次に次第3の議事でございます。
函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理について、事務局から説明をお願いいたします。

経営企画課長 経営企画課長よりご説明をさせていただきます。初めに、経営ビジョンの進行管理に係る今後のスケジュールと、委員の皆様をお願いしたい項目などにつきましてご説明をさせていただきます。

<資料説明 4～5ページ>

説明は以上となりますが、委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、期間の短いスケジュールになっておりますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

それではスケジュール等のここまでの内容につきまして、何かご不明な点などございますでしょうか。

(質問等なし)

経営企画課長 それでは続きまして、各経営ビジョンのこれまでの取り組み状況について、初めに、上下水道事業からご報告させていただきます。

<資料説明 6～11ページおよび17ページ>

続きまして、交通事業についてご報告いたします。

<資料説明 12～16ページおよび17ページ>

経営企画課長	以上が交通事業経営ビジョン進行管理についてのご報告でございます。次の18, 19ページには、委員の皆様からご意見を提出していただく際の様式となっております。 本日、別にもう1枚この様式を机上に配布させていただいておりますので併せてご活用ください。 また、意見をメールで提出される方で、様式のファイルが必要な方はお手数ですが、4ページの表に記載されているメールアドレスまでメールをいただければ、様式をお送りさせていただきます。 これをもちまして、各経営ビジョンの取組状況の報告を終了させていただきます。 以上です。
三浦会長	ただいま事務局から説明がございましたが、各委員からご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。 例年ですとBがほとんどの評価だったように記憶しておりますけれど、今回は一件だけCがございました。その辺が例年とは違うところでしたけれども、何か説明にご意見ご質問等ございますでしょうか。 はいどうぞ。
森元委員	交通事業についてお伺いしたいのですが、前回の懇話会の中でも乗客数というのは、インバウンド頼みのところがあるという話を聞いたような覚えがあるのですが、インバウンドは、少なくともこれから観光客の入り込みを考えると、交通部の経営についても無視できないような数になってくるのではないかと考えておりますが、その割には、インバウンド対策の項目がほとんど入っていないというのはどうなのかなと思ってます。 言語の問題ですとか、インバウンド対策として、これからの将来を見据えた時に、取り組むべき問題や課題があるのではないかと考えておりますので、その点について、お答えいただきたいと思います。
交通部次長	交通部次長の廣瀬でございます。 具体的な取り組みの中に、インバウンドという表現が、おっしゃられる通りほとんど記載がないところではありますが、現実には市電車内でのインフォメーションは、紙媒体のものもありますし、サイネージを使った媒体もあります。こちらの方に可能な限り外国語の表記を盛り込むような取り組みを進めております。 そして、車内放送ですが、自動で行う放送の部分につきましても、従来、各停留場のご案内は英語も加えておりましたが、先だって新聞に出たと思うのですが、現在、さらに中国語や韓国語での放送も、加える形に改造しております。 また、整理券にはこれまで始発から数えて1番目、2番目、3番目と整理券番号を振っておりましたが、海外の方は、整理券を取って乗る習慣がないというお話も聞きましたので、このたびの機械を入れ替える際には、ステーションナンバーと呼ばれる停留場固有の番号を整理券に印字をして、ステーションナンバー見ていただければ、どこから乗ったかが分かるようにしたことと、車内の料金表示器の方にも、停留場名とステーションナンバーを表示いたしまして、どこから乗ったら、幾らになるかが分かるように工夫もしております。 あとは、ハードウェアとしての対策なのですが、例えば停留場を改修する際にスロープをつけておりますが、これは車いすの方ですとか足腰の不自由な方向けの対策ですが、実は大きなスーツケースをお持ちになる旅行客の方々にとっても段差がないというのは、非常に利便性も高まるだろうということで、そのような観点からも進めております。 以上でございます。
森元委員	わかりました。
三浦会長	よろしいですか。 それでは、その他の意見どなたかありますか。 はいどうぞ。

渡部委員 函館地区バス協会の渡部です。よろしくお願いします。13ページの交通事業における施策の目標の括弧1，安全性の向上の中に③安全管理体制の強化についてとございますが，内部監査を実施されたという文面でしたが，これは我々と同様，法令に基づいた内部監査だと思われるのですが，交通部の限られた職員の中で，先ほどの写真にもございましたけれども，この監査委員というのはどのような方々が監査を担われているのでしょうか。

安全推進課長 安全推進課長の向出でございます。
私の方からご回答したいと思います。
内部監査を実施する監査委員につきましては，業務に直接関わっている職員を監査委員とするのは好ましくないということから，現在は交通部の職員ではなく，管理部の職員の方をお願いをしているところでございます。
また，内部監査につきましては体制強化を図るために，令和2年度に手順の見直しを行っておりまして，従来は管理部の事務職の方3名に対応していただいていたところですが，体制強化ということで，技術職を含め5名に増員をいたしまして，現在行っているというところでございます。
以上です。

渡部委員 ありがとうございます。

三浦会長 それでは他の委員の方，何かございますか。
はいどうぞ。

山本委員 交通事業についてですが，人口がどんどん減っており，市電の乗車率が非常に悪くなっていると思います。
ここで一つ提案ですが，電車の乗車券ですとか，施設の利用料を含めた形で，ふるさと納税の返礼品とすることはできないのかと考えております。
1日乗車券になりますと，函館バスと共通のものもありますけれど，例えば市の施設の入場料ですとか，他と協議しなければならないと思いますが，ロープウェイ，五稜郭タワーなど，それらを含めたものを検討してみてもいいかなと思います。

交通部長 交通部長の小笠原です。ふるさと納税に関して，電車の1日乗車券であったり，他にも，市全般における施設の利用料であったりというようなご意見をいただきました。
直接担当する部局ではございませんが，ふるさと納税に関しましては，函館市は食べ物の返礼品が多く，他の日本全国の自治体ですと，施設の利用料ですとか，色々な体験をできるというものなどが，ふるさと納税の返礼品の対象となっており，その可能性は色々なところにあると感じております。
今日いただいたご意見に関しては，貴重なご意見ということで，関係部局の方に，このような意見があったということを伝えさせていただきたいなと思います。
よろしくお願いします。

山本委員 わかりました。

三浦会長 それでは，他に委員の方，何かございませんでしょうか。
はい，どうぞ。

山本委員 水道についてですが，室蘭でベンゼンが流入して問題になりましたが，確か北海道の調査では，危険な所は，まだ150以上あるということで，函館にも対象になるところがあるのではないかと思います。市内にも廃止しているガソリンスタンドが結構ありますが，残っている油が漏れ，水道管に流入する可能性がある箇所を把握しているのかと，事故が起きた場合の対策をお聞きしたい。
また，函館の場合海拔1m位という土地が結構多いと思いますが，塩分によって古い水道管が腐食する可能性が高いと考えられますので，このような箇所から漏れる危険性が非常に高いと思いますので，その点についてお伺いしたい。

維持管理
担当課長 上下水道部管路整備室維持管理担当課長 加地からお答えをさせていただきます。
漏水の可能性ということでご心配をされてる部分があると思いますが、3月に配水本
管の破裂があった件につきまして前回の懇話会でもご報告させていただいておりますけ
れども、維持管理担当では、毎年一定の区域を決めて漏水調査等を実施し、漏水の防止
に努めているところでございます。
また、水道管の中にベンゼン等の異物が混入して、お客様の方から水がおかしいとい
うようなご連絡をいただいた際には局の方で調べまして、異常の有無についてお客様
の方にお知らせしているところでございます。
今のところ、委員がご心配されているような事案は発生しておりませんが、ガソリン
スタンドなどを廃止した箇所の把握につきましては積極的に調べるというようなことは
していないのですが、新聞報道ですとか通常のパトロール等を通じまして、廃止した箇
所の状況を把握することに努めているところでございます。
以上です。

山本委員 わかりました。

三浦会長 よろしいですか。それでは他にございますか。

黒瀧委員 函館地区連合を代表しております黒瀧と申します。
参考までにお聞きしたいのですが、先般、GLAYなどのイベントが行われ、函
館市に対する経済効果も多大なものがあったと思うのですが、企業局においても、当日
の増発便ですとか、もしくはGLAYの1日乗車券が販売されておりますけれども、こ
の辺の効果というのはどのくらい企業局にもたらせているのかお聞きしたいのですが、
よろしいでしょうか。

事業課長 事業課長 湊より回答させていただきます。
GLAYの1日乗車券につきましては、開催日に向けて前後1週間程度、期間販売を
しております。こちらにつきましては、正式な数字は、資料を持ち合わせておりません
でしたが、観覧者数の約半分ぐらいの方々がご利用いただいているのかなと思われ
ます。また、今年はコンベンションにかなり来ていただいたことで、アリーナに向かう
お客様に多くご利用いただきました。数字上でも、売り上げは上がってはおります。市
の活性化には貢献しているのかなと思います。そして、それに対応する増車等もできる
限り対応しているところでございます。
以上です。

黒瀧委員 ありがとうございます。

三浦会長 よろしいですか。
GLAYの関係では、当日、乗車の人たちの長い列がありました。側を通ったときに
すごいなと思って見ておりましたけれども、あのようなイベントがあると、電車の利用
は随分と増えるんだなという印象を持てます。
他にございますか。
一通りご意見を伺いましたけれども、もしこのあたりで質問が無いようでしたら、本
件については終了したいと思います。委員の皆様にはお忙しい中とは承知しております
けれども、各経営ビジョンの進行管理に係るご意見を提出していただきたく、よろしく
お願いいたします。
また、本日の報告等で改めて疑義が生じた場合など、事務局で質問を受け付けるとい
うことですので、ご質問ございましたら、事務局に連絡願います。

4 その他

三浦会長 次に、次第4のその他ですが、事務局から報告事項があるとのことですのでよろしく
お願いいたします。

経営企画課長 本日、4点ご報告事項がございます。1点目は、1日乗車料金および2日乗車料金に
係る条例の改正についてです。
それでは、担当課よりご説明をさせていただきます。

事業課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	次に2点目ですが、乗り継ぎ制度の見直しについてです。 こちらを担当課よりご説明いたします。
事業課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	先ほどご説明しました、1点目の1日乗車料金および2日乗車料金に係る条例の改正についてですが、中身につきましては現在私どもの方で市議会に条例改正案を提案しておりまして、その中で審議後、議決をいただいた後で決定することになりますのでよろしくお願ひします。 次に3点目ですけれども、令和5年10月6日発生の架線断線事故の概要についてです。担当課よりご説明いたします。
交通部次長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	最後に4点目ですが、令和5年11月24日に、変電所トラブルに伴う市電の運行障害の概要について、担当課よりご説明いたします。
交通部次長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	ご報告は以上となります。
三浦会長	ただいま事務局から報告がございました。各委員から何かご質問がございましたらよろしくお願ひいたします。 はいどうぞ。
佐藤副会長	自然災害による事故かなと思っているのですけれども、人身事故がなくて良かったかなと思っておりますが、多くの人たちに影響があったということで、実は市の公式LINEで事故に気がつきまして、関係する人たちに、今止まっているという連絡をしたこともあったり、他でも公式LINEを見て、特に混乱することもなく移動することができましたよという話も聞いておりました。 それで、このような事故があったときに、より早く多くの人たちに知らせる方法がいくつかあると思うのですけれども、今回、特に10月に発生した事故についての広報をどのようにしたかということをお伺ひします。
事業課長	事業課長の湊よりご回答させていただきます。事故や運行障害が発生した場合には、旧ツイッター、LINE、ホームページ、そして、北海道運輸局が推奨しております旅の安全情報でSNSでは拡散し、周知をするようにしております。こちらに関しましては、事故直後に早急に実施するようにはしておりますが、多少のタイムラグが発生しておりましたことにつきましては、お詫びしたいと思います。 また、全停留場に広報装置を設置しておりまして、事故の発生、運休について広報をし、停留場で電車を待ってるお客様に周知をしているところでございます。 以上です。
佐藤副会長	ありがとうございます。

三浦会長

よろしいですか。

他に何かご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。

今のお話に関連するのですが、必ずしも企業局に責任があると思えないようなことも多いのですが、この10年間ぐらいを見ると、最近、脱線事故に続いて、事故が重なっているのですね。企業局が一生懸命努力していることは承知しておりますので、最善を尽くしていると思っておりますが、やはり統計的に見ると、この2、3年の間は多いので、やはり、ここで少しこれからどのようにしたらいいのかということを考えるのも大事なかなと思いますので、事務局の方は少し考えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

他に何かご意見ございますか。

ご意見がないようですので、本日の会議日程は以上ということで、進行を事務局にお返ししたいと思います。

5 閉会

経営企画課長

三浦会長ありがとうございました。以上で本日の日程は全て終了となります。会議録につきましては、この後、事務局にて案を作成し、後日、委員の皆様へ郵送させていただきます。ご確認いただく形で作成してまいりますので、よろしくお願いいたします。それでは、以上で令和5年度第2回函館市企業局経営懇話会を閉会いたします。

ありがとうございました。